資　料　４－２

要点審議事業

道路事業　再評価

一般国道4号　仙台拡幅（篭ノ瀬～鹿の又）

令和5年8月　7日
国土交通省　東北地方整備局

1. 事業の目的と概要

3年経過で未着工

○事業の目的

・円滑な交通の確保
・交通混雑の緩和により、安全性が向上
・救急搬送活動を支援

○計画概要

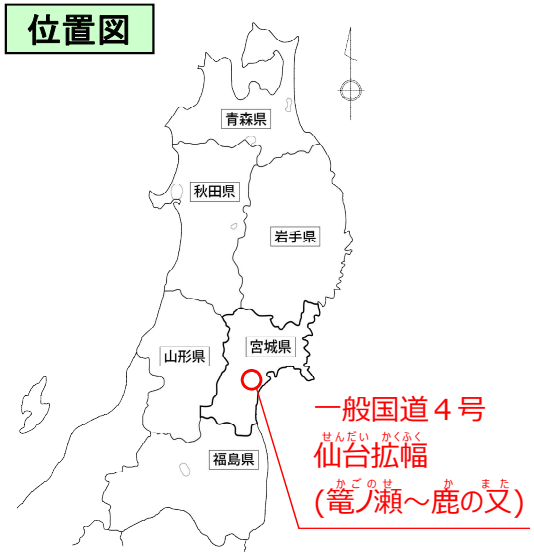
起終点　：自：宮城県仙台市太白区郡山
　　至：宮城県仙台市太白区東郡山
延　　長　：１．６ｋｍ
幅　　員　：４０．０ｍ
道路規格　：第４種第１級
設計速度　：６０ｋｍ／ｈ
計画交通量　：８２，１００台/日
都市計画決定：平成７年度（立体化）
事 業 化　：令和３年度
用地着手　：ー（道路設計中）
工事着手　：ー

事業費・進捗率

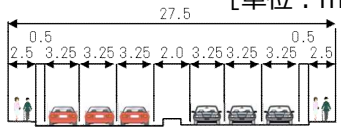
	全体事業費 （うち用地補償費）	執行済み額 （うち用地補償費）	全体進捗率 （用地進捗率）	R2新規事業 採択時評価 （うち用地補償費）
完成	400億円 （56億円）	3億円 （ー億円）	1% （0%）	400億円 （56億円）

※進捗率・執行済み額は令和5年3月末時点

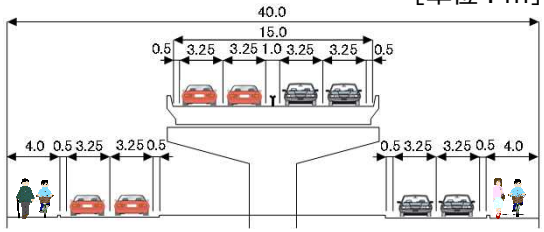
位置図



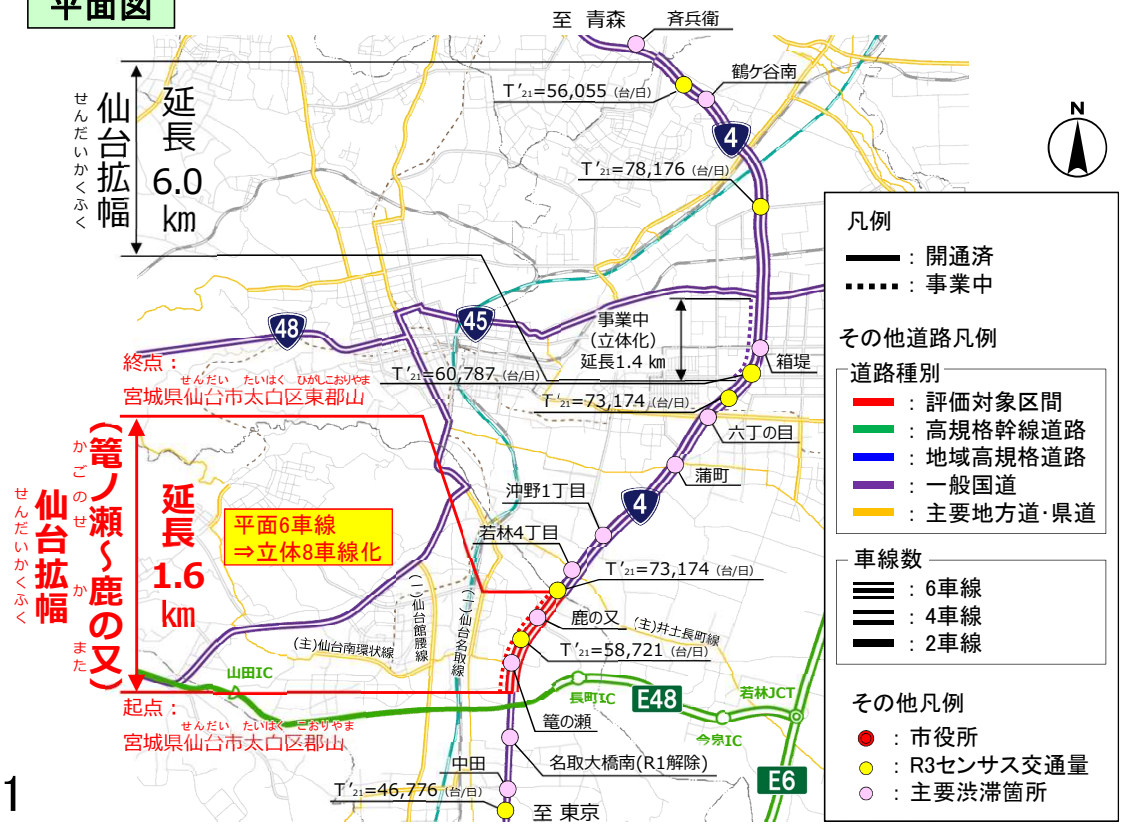
標準横断図（現況）



標準横断図（計画）



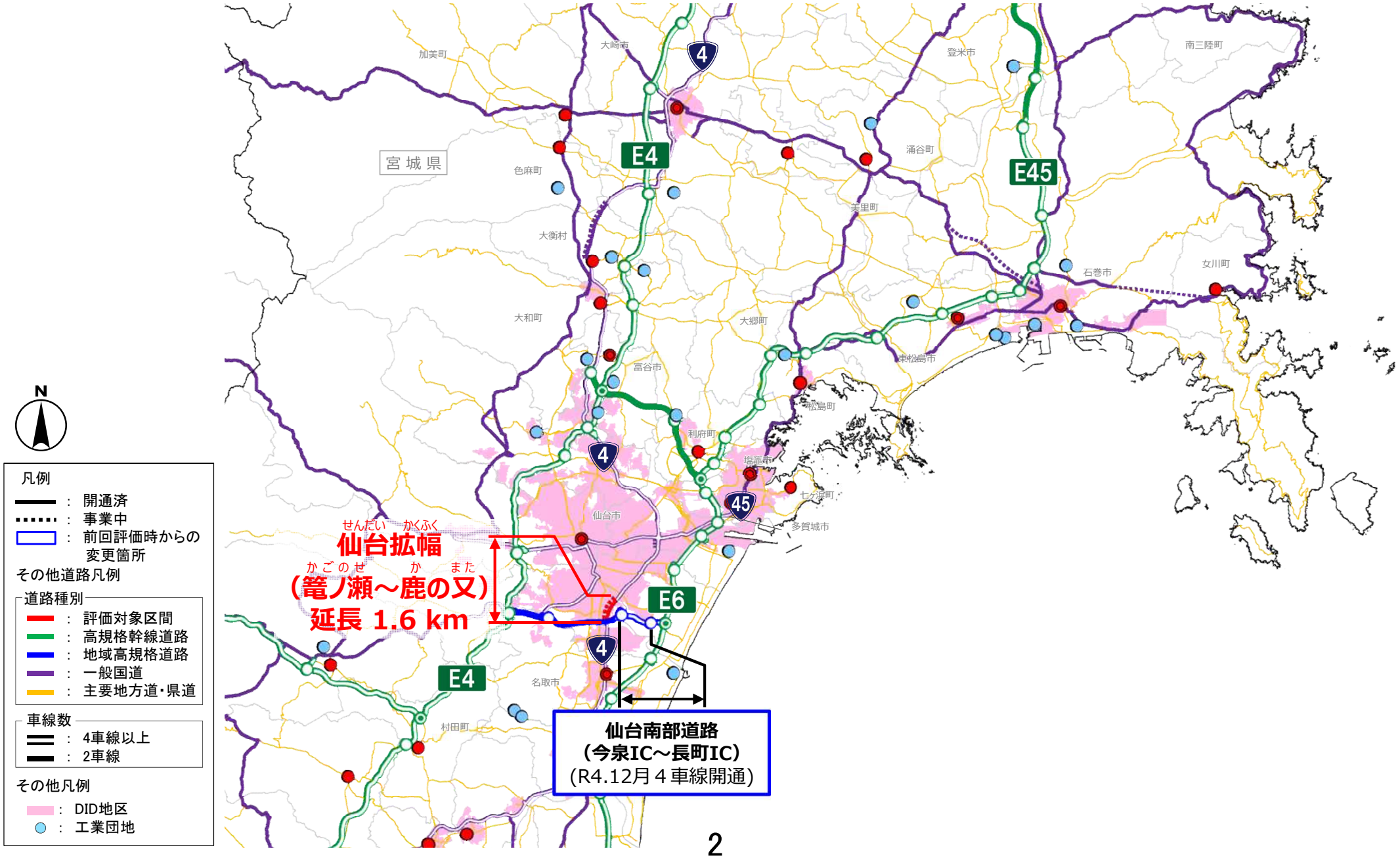
平面図



2. 前回評価時からの周辺環境等の変化

3年経過で未着工

◆仙台南部道路（今泉IC～長町IC）が令和4年12月に４車線供用。



3. 事業の投資効果

○算出条件・費用便益分析の前回比較

※費用及び便益の合計は表示桁数の関係で計算値と一致しない場合がある。

			前回	今回	変化	変 更 概 要
基準年度（評価年度）			R2	R5	あり	・新規事業採択後3年未着手による
事業期間			R3～R12	R3～R12	－	
費用便益分析マニュアル			H30.2	R4.2	あり	・R4.2マニュアル改訂（原単位の見直し）
計画交通量推計年度			R12	R22	あり	・最新ODへの見直し
計画交通量推計OD（フレーム）			H22OD	H27OD	あり	・最新ODへの見直し
計画交通量（台／日）			82,600	82,100	-500	・最新ODへの見直し ・転換率式の見直し
事業費　億円			400	400	－	
費用便益　億円	全体	総便益B （現在価値）	519	484	−35	・計画交通量の減少に伴うB/Cの減少
		総費用C （現在価値）	282	305	23	
		費用便益比（B／C）	1.8	1.6	−0.2	
	残事業	総便益B （現在価値）	－	484	－	
		総費用C （現在価値）	－	301	－	
		費用便益比（B／C）	－	1.6	－	

○今回の費用便益分析

全　体（億円）	便益　B	走行時間短縮	走行経費減少	交通事故減少	総便益
		447	26	11	484
	費用　C	事業費	維持修繕費	更新費	総費用
		300	4.7	-	305
	B／C				1.6
残事業（億円）	便益　B	走行時間短縮	走行経費減少	交通事故減少	総便益
		447	26	11	484
	費用　C	事業費	維持修繕費	更新費	総費用
		296	4.7	-	301
	B／C				1.6

○今回の感度分析

【全　体】

交　通　量：	(−10%～+10%)	1.4 ～ 1.7
事　業　費：	(−10%～+10%)	1.4 ～ 1.8
事業期間：	(−20%～+20%)	1.5 ～ 1.6

【残事業】

交　通　量：	(−10%～+10%)	1.5 ～ 1.7
事　業　費：	(−10%～+10%)	1.6 ～ 1.8
事業期間：	(−20%～+20%)	1.5 ～ 1.7

4. 事業の必要性に関する視点

１）事業を巡る社会情勢等に関する視点

事業目的である交通混雑緩和、交通安全の確保及び沿道環境改善、救急搬送の効率化が必要な状況は変化していない

２）事業の投資効果　B/Cが事業全体で１．６、残事業で１．６を確保

３）事業の進捗状況　令和５年3月末時点で事業進捗１％。

5. 事業の進捗の見込みの視点

・令和３年度に事業化され、路線測量、地質調査に着手。令和3年度より道路設計に着手。

・今後、道路設計完了後に、必要な手続きを経て用地買収に着手予定。

・全線の開通時期については、完成に向けた円滑な事業実施環境が整った段階で確定予定。

6. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

新技術の積極的な活用等により、コスト縮減に取り組む。

7. 地方公共団体等の意見

・仙台市長の意見

事業の継続実施に異議はありません。

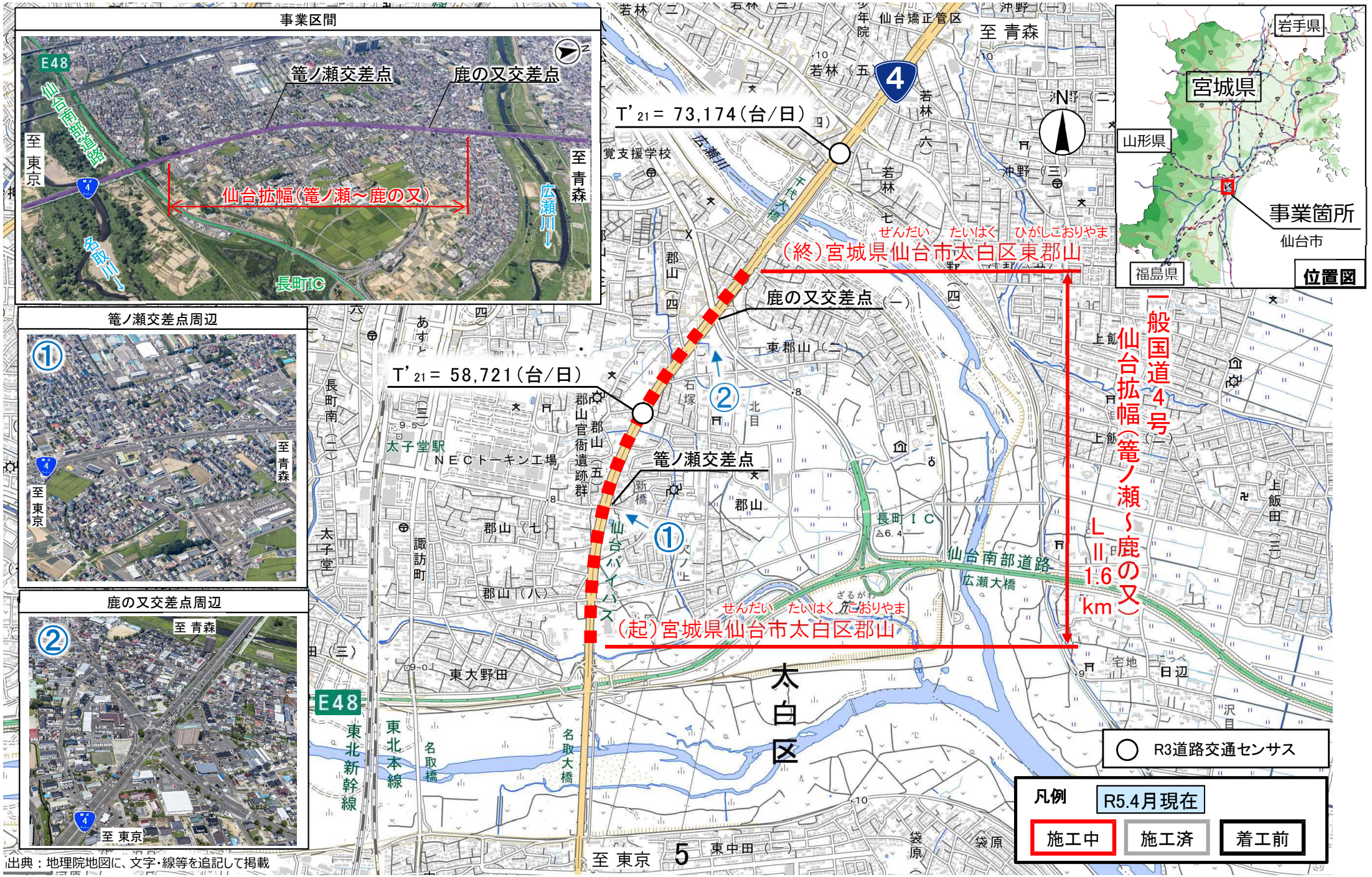
一般国道４号仙台拡幅事業は、周辺地域の交通の円滑化や国道４号バイパスの渋滞緩和にも大きく寄与することが期待される事業であり、コスト縮減にも最大限に配慮しながら、早期完成に向け推進いただきますようお願いします。

8. 対応方針（原案）

事業継続

（理由）　国道４号における交通混雑緩和、交通安全の確保及び沿道環境改善、救急搬送の効率化のため、早期整備の必要性が高い。

9. 事業の進捗状況　一般国道4号　仙台拡幅（篭ノ瀬～鹿の又）



出典：地理院地図に、文字・線等を追記して掲載